

平成28年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔社会〕 種目〔地理的分野〕

平成28年度から使用する中学校用教科書の採択について

教科 [ 社会 ] 種目 [ 地理的分野 ]

1 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、官公庁や商業施設が集まる地域、工業・農業・漁業が行われている地域、宅地造成により住宅地が広がる地域、豊かな自然の残る地域など、それぞれに異なる特色をもつ地域が分散しており、様々な地理的事象を観察・調査することができる地域である。また、近年の都市再開発、高速道路の整備等、変化の大きな地域もあり、時代の変化を調べる学習にも適している。
- 生徒は、地理的事象に対する興味・関心が高く、基礎的知識が概ね定着している生徒が多いが、様々な資料を的確に読み取ったり、自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりする力に課題がある。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ② 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	③ 学習意欲を高めるための工夫 ④ 問題解決的な学習を実施するための工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
<内容の表現・表記>	⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑧ 文字の大きさや配色等の工夫
<言語活動の充実>	⑨ 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

### 3 各教科書の特徴及び意見

東京書籍

#### 1 基礎・基本の定着

##### (1) 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 大項目「日本の様々な地域」の冒頭で、宇宙から見た日本列島の写真を掲載している。
- 領土をめぐる問題について、本文1ページにわたり、「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」の問題を取り上げている。
- 特設ページ「地理にアクセス」で、2ページにわたり、「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」について説明している。
- 歴史的背景を中核とした考察では、近畿地方を題材とし、「古都の成り立ちと現在」、「都市と郊外の成り立ち」、「現代に開発されたニュータウン」という学習内容を設けている。
- 分野関連マークで、歴史的・公民的分野との関連を示している。

##### (2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- 中項目「世界各地の人々の生活と環境」では、6地域の人々の生活、世界の気候、宗教、伝統的な生活について説明している。
- 地球規模の環境問題・環境保全について、南アメリカ州を学習する際の主題として設定し「自然環境と共生する人々」、「開発の進行とその影響」という学習内容を設けている。
- 中項目「世界の諸地域」では、各小項目の最後に、「〇〇州の学習をふり返ろう」を設け、各州の基礎的な知識をまとめる課題を示している。
- 中項目「世界の諸地域」の最後の特設ページ「この章の学習を確認しよう」で、世界の諸地域の基礎的な知識をまとめる課題を示している。

#### 2 主体的に学習に取り組む工夫

##### (1) 学習意欲を高めるための工夫

- 中項目「世界の諸地域」の冒頭で、学習内容と関わりのある写真を3枚掲載している。
- 中項目「世界の諸地域」では、全ての小項目の冒頭に、学習する州と関連のある写真、グラフ、地図等を掲載している。
- 中項目の冒頭に、小学校で学習した語句を5程度掲載し、小学校との関連を図っている。
- 「広島」に関する資料として、「被爆電車と原爆ドーム」、「広島市の中心部」、「原子爆弾による被害」の写真、地図、グラフ等（計16点）を掲載している。

##### (2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 全ての見開きページに、「どのように」「どのような」という発問の他に、「なぜ」という発問がある。
- 中項目「身近な地域の調査」では、「情報を集める」「調査テーマを決める」「仮説を立てる」「調査計画を立てる」「調査する」「考察しまとめる」「発表する」という7段階の調査手順を示し、まとめ方として2つの事例を示している。
- 世界の略地図を描く際、ポイントを7つ説明し、4段階で作業を行うようにしている。
- コラム「地理スキル・アップ」で、グラフや地形図の読み取り方、時差の調べ方等の地理的技能を身に付けるようにしている。
- 「えんぴつマーク」のコーナーで、「グラフから、1950年代から70年代にかけて増えた年齢層を読み取りましょう。」「地図を見て、小麦・大麦の生産が盛んな地域の特色を気温や降水量などに注目して説明しましょう。」等、資料から情報を読み取って考える課題を示している。

#### 3 内容の構成・配列・分量

##### (1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 巻末資料では、14ページにわたり、統計資料、用語解説、索引を掲載している。
- 表見返し2ページにわたり、世界の国々（12か国）の写真を掲載している。
- 裏見返し3ページにわたり、「世界の主な家畜」（11種類）、「世界の主な農産物」（24種類）を掲載している。

##### (2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 特設ページ「深めよう」で、学習した内容をさらに深める課題を設定している。

#### 4 内容の表現・表記

##### (1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 中項目「日本の諸地域」で、写真196、地図67、図表76を掲載している。
- 小項目「中国・四国地方」で、2ページにわたり、広島市を扱い、「広島市の中心部」「原子爆弾による被害」「広島市内の自動車工場」「広島市の人口の移り変わり」「平和式典の様子」「平和への誓い」の資料を掲載している。

##### (2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

## 5 言語活動の充実

### (1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 見開きごとに「確認」で、学習内容をまとめ、「次の語句を使って説明しましょう。」「○にふれながら、説明しましょう。」「例をあげて説明しましょう。」「一文でまとめましょう。」「キャッチフレーズをつけましょう。」「予想を書きましょう。」「PRする文章を書きましょう。」等の指示により説明する課題を設定している。
- 中項目「世界の諸地域」の各州の学習及び中項目「日本の諸地域」の各地方の学習で、「なぜ」という発問により研究課題を示し、学習したことを「図や表」「ウェビングマップ」「地図」等の方法で整理させ、研究課題について考えたことを自分の言葉でまとめる活動を設定している。
- 中項目「身近な地域の調査」で、2ページにわたり、地図や図表へのまとめ方について説明している。

### 意見

東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

#### (理由)

東京書籍の教科書の特徴である、中項目の冒頭に、小学校で学習した語句を5程度掲載し、小学校との関連を図っていること、コラムで、グラフや地形図などの資料の読み取り方等の地理的スキルを身に付けるようにしていることに加え、コーナーを設け、資料から情報を読み取って考える課題を示していること、見開きごとに、「○○にふれながら、説明しましょう。」「例をあげて説明しましょう。」等の指示により説明する課題を設定していること、中項目「世界の諸地域」の各州の学習及び中項目「日本の諸地域」の各地方の学習で、「なぜ」という発問により研究課題を示し、学習したことを「図や表」「ウェビングマップ」「地図」等の方法で整理させ、研究課題について考えたことを自分の言葉でまとめる活動を設定していることは、思考力、判断力、表現力の育成をめざすひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や様々な資料を的確に読み取ったり、自分の解釈に加えて論述したり、意見交換したりする力に課題がある本市生徒の状況により対応することができるものである。

1 基礎・基本の定着

(1) 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 大項目「日本の様々な地域」の冒頭で、宇宙から見た日本列島の写真を掲載するとともに、学習内容と関連のある写真、人物の絵を掲載している。
- 領土をめぐる問題について、本文2ページにわたり、「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」の問題を取り上げている。
- 歴史的背景を中核とした考察では、近畿地方を題材とし、「京都の街並みと景観保全」、「阪神工業地帯の発展と課題」、「商業のまち・大阪の変化」、「琵琶湖の水の利用と環境」という学習内容を設けている。

(2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- 中項目「世界各地の人々の生活と環境」では、6地域の人々の生活、世界の民族、言語、宗教について説明している。
- 地球規模の環境問題・環境保全について、南アメリカ州を学習する際の主題として設定し、「南アメリカ州の農業と開発」、「南アメリカの都市が抱える環境問題」、「南アメリカの経済開発と社会」という学習内容を設けている。
- 中項目「世界の諸地域」では、各小項目の最後に、「学習のまとめと表現」を設け、各州の基礎的な知識をまとめる課題を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- 中項目「世界の諸地域」の冒頭で、学習内容と関わりのある写真を4枚掲載している。
- 「広島」に関する資料として、「上空から見た厳島神社」、「港町『鞆の浦』」、「1898年ごろの広島市」の写真、地図、グラフ等(計9点)を掲載している。

(2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 全ての見開きページに、「どのように」「どのような」という発問の他に、「なぜ」という発問がある。
- 中項目「身近な地域の調査」では、「地形図の利用」「地域の観察」「テーマの決定」「テーマ別の調査」「調査結果のまとめ」「発表会を開く」「レポートの作成」という7段階の調査手順を示し、まとめ方として1つの事例を示している。
- 世界の略地図を描く際、全体像とバランスが重要であると説明している。
- 「地理にアプローチ」のコーナーで、グラフや地形図の読み取り方、時差の調べ方等の地理的技能を身に付けるようにしている。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 巻末資料では、14ページにわたり、統計資料、用語解説、索引を掲載している。
- 表見返し2ページにわたり、世界遺産(10箇所)の写真を掲載している。
- 裏見返し3ページにわたり、「世界の主な家畜」(8種類)、「主な鉱産物」(8種類)、「世界の主な農産物」(18種類)を掲載している。

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 特設ページで、学習した内容をさらに深める課題を設定している。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 中項目「日本の諸地域」で、写真185、地図78、図表52を掲載している。
- 小項目「中国・四国地方」で、2ページにわたり、広島市を扱い、「1898年ごろの広島市」「1950年ごろの広島市」「2012年ごろの広島市」「広島市の人口・面積の変化」「現在の広島中心部」の資料を掲載している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 見開きごとに「ふりかえる」で、学習内容をまとめ、「まとめてみよう。」「整理しよう。」「書き出そう。」等の指示により説明する課題を設定している。
- 中項目「世界の諸地域」の各州の学習及び中項目「日本の諸地域」の学習の3か所で、「学習のまとめと表現」を設定し、「表にまとめよう」「略地図にまとめよう。」「問題を文章にまとめよう。」「地図を活用して説明しよう。」等の指示により考えたことを自分の言葉でまとめる活動を設定している。
- 中項目「身近な地域を調べてみよう」で、2ページにわたり、レポートのまとめ方について説明している。

## 1 基礎・基本の定着

### (1) 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 大項目「日本の様々な地域」の冒頭で、学習内容と関連のある写真を掲載している。
- 領土をめぐる問題について、本文2ページにわたり、「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」の問題を取り上げている。
- コラム「漁業がさかんだった昔の竹島」で、江戸時代から昭和初期にかけての竹島の様子を説明している。
- 歴史的背景を中核とした考察では、北海道地方を題材とし、「厳しい自然環境を克服した稲作の歴史」、「大規模化してきた畑作や酪農、漁業」、「歴史や北国の自然を生かした観光業」という学習内容を設けている。

### (2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- 中項目「世界各地の人々の生活と環境」では、5地域の人々の生活、世界の気候、衣食住、宗教について説明している。
- 地球規模の環境問題・環境保全について、南アメリカ州を学習する際の主題として設定し、「ブラジルにみる環境問題」、「産業発展と開発に伴う問題」という学習内容を設けている。
- 中項目「世界の諸地域」では、各小項目の最後に、「学習をふりかえろう」を設け、各州の基礎的な知識をまとめる課題を示している。

## 2 主体的に学習に取り組む工夫

### (1) 学習意欲を高めるための工夫

- 中項目「世界の諸地域」の冒頭で、世界地図を掲載し、各州で注目するテーマを示している。
- 中項目「世界の諸地域」では、全ての小項目の冒頭に、学習する州と関連のある写真を掲載している。
- 「広島」に関する資料として、「世界遺産に登録されている厳島神社」、「古くから海上交通の拠点の一つだった鞆の浦」、「毎年8月6日に行われる平和記念式典」の写真(計3点)を掲載している。

### (2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 全ての見開きページに、「どのように」「どのような」という発問の他に、「なぜ」という発問がある。
- 中項目「身近な地域の調査」では、「テーマを決める」「調査方法を考える」「野外調査をする」「資料を集めて調べる」「調査結果を発表する」という5段階の調査手順を示し、まとめ方として2つの事例を示している。
- 世界の略地図を描く際、ポイントを8つ説明し、4段階で作業を行うようにしている。
- コラム「技能をみがく」で、グラフや地形図の読み取り方、時差の調べ方等の地理的技能を身に付けるようにしている。
- 「やってみよう」のコーナーで、「グリーンランドの形を、地球儀と図⑤で比べ、なぜ形に違いがあるのか、図①を手がかりにして考えてみましょう。」「A-Bの間の長さをはかり、A-B間の実際の距離は何mになるのか計算してみましょう。」等、資料や地図等から情報を読み取って考える学習課題を示している。

## 3 内容の構成・配列・分量

### (1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 巻末資料では、4ページにわたり、索引を掲載している。
- 表見返し3ページにわたり、「世界に広がる日本の文化や技術」「日本の中で進む国際化」に関連した写真(13枚)を掲載している。
- 裏見返し3ページにわたり「世界の家畜・鉱産物」(10種類)、「世界の農産物」(18種類)を掲載している。

### (2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 特設ページ「地域を探ろう」で、学習した内容をさらに深める課題を設定している。

## 4 内容の表現・表記

### (1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 中項目「日本の諸地域」で、写真216、地図59、図表88を掲載している。
- コラム「共生」で、広島市を扱い世界とつながる平和記念都市「広島」を説明している。

### (2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 見開きごとに「確認しよう」「説明しよう」で、学習内容をまとめ、「書き出してみましよう。」「説明してみましよう。」「確認してみましよう。」等の指示により説明する課題を設定している。
- 中項目「世界の諸地域」の各州の学習及び中項目「日本の諸地域」の各地方の学習で、学習の最後に、「図にまとめてみましよう。」「自分の言葉で説明してみましよう。」等の指示により考えたことを自分の言葉でまとめる活動を設定している。
- 中項目「身近な地域を調べてみまよう」で、2ページにわたり、レポート等へのまとめ方について説明している。

意見

帝国書院の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

帝国書院の教科書の特徴である、コラムで、グラフや地形図などの読み取り方等の地理的スキルを身に付けるようにしていることに加え、コーナーを設け、資料や地図等から情報を読み取って考える学習課題を示していること、見開きごとに、「説明してみましよう。」「確認してみましよう。」等の指示により説明する課題を設定していること、中項目「世界の諸地域」の各州の学習及び中項目「日本の諸地域」の各地方の学習で、学習の最後に、「図にまとめてみましよう。」「自分の言葉で説明してみましよう。」等の指示により考えたことを自分の言葉でまとめる活動を設定していることは、思考力、判断力、表現力の育成をめざすひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や様々な資料を的確に読み取ったり、自分の解釈に加えて論述したり、意見交換したりする力に課題がある本市生徒の状況に対応することができるものである。

1 基礎・基本の定着

(1) 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 大項目「日本の様々な地域」の冒頭で、宇宙から見た日本列島の写真を掲載している。
- 領土をめぐる問題について、本文2ページにわたり、「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」の問題を取り上げている。
- 歴史的背景を中核とした考察では、近畿地方を題材とし、「近畿地方の歴史、人口、産業」、「歴史的都市の街なみと文化」、「関西大都市圏の成り立ち」、「近畿地方の産業と歴史」という学習内容を設けている。
- 「連携コーナー」で、歴史的・公的分野との関連を示している。

(2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- 中項目「世界各地の人々の生活と環境」について6地域の人々の生活、宗教、言語について説明している。
- 地球規模の環境問題・環境保全について、南アメリカ州を学習する際の主題として設定し、「南アメリカ州の民族、文化、産業」、「熱帯雨林の開発による環境問題」、「人々の動きからみた環境問題」という学習内容を設けている。
- 中項目「世界の諸地域」では、各小項目の最後に、「〇〇州をふりかえる」を設け、各州の基礎的な知識をまとめる課題を示している。
- 中項目「世界の諸地域」の最後の特設ページ「世界の諸地域をふりかえろう」で、世界の諸地域の基礎的な知識をまとめる課題を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- 中項目「世界の諸地域」の冒頭で、学習内容と関わりのある写真を6枚掲載している。
- 「広島」に関する資料として、「広島市の都心と路面電車」、「広島市北部の住宅地と新交通システム」、「渋滞する広島市内の道路」の写真、地図、グラフ等(計12点)の資料を掲載している。

(2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 全ての見開きページに、「どのように」「どのような」という発問の他に、「なぜ」という発問がある。
- 中項目「身近な地域の調査」では、「調査テーマを決定する」「仮説を立てる」「調査計画を立てる」「調査を進める」「仮説を検証する」「地域の課題をとたえる」「調査結果をまとめる」「調査結果を発表する」という8段階の調査手順を示し、まとめ方として2つの事例を示している。
- 世界の略地図を描く際、ポイントを7つ説明し、3段階で作業を行うようにしている。
- 「スキルUP」のコーナーで、グラフや地形図の読み取り方、時差の調べ方等の地理的技能を身に付けるようにしている。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 巻末資料では、12ページにわたり、統計資料、用語解説、索引を掲載している。
- 表見返し2ページにわたり、世界の国(16か国)の小・中学生の写真を掲載している。
- 裏見返し3ページにわたり、「日本の世界遺産」(18箇所)と「暫定リスト掲載遺産」(4箇所)と日本の主なユネスコ無形文化遺産(7種類)を掲載している。

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 特設ページ「自由研究」「地域からのメッセージ」で、学習した内容をさらに深める課題を設定している。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 中項目「日本の諸地域」で、写真219、地図59、図表53を掲載している。
- 小項目「中国・四国地方」で、本文11行にわたり、広島市を扱い、「広島市の人口」「広島市のようす」「広島市の都心と路面電車」「広島市北部の住居地と新交通システム」「渋滞する広島市内の道路」「原爆ドーム」「厳島神社」の資料を掲載するとともに、コラムで原爆ドームと宮島について説明している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 見開きごとに「学習の確認と活用」で、学習内容をまとめ、「箇条書きで答えよう。」「次の言葉を使って説明しよう。」「イラストにして発表しよう。」「クラスで話し合おう。」「文章でまとめよう。」「自分の考えをまとめよう。」「方法を提案しよう。」等の指示により説明する課題を設定している。
- 中項目「世界の諸地域」の各州の学習及び中項目「日本の諸地域」の各地方の学習で、学習の最後に、「自分の言葉で文章にまとめよう。」等の指示により考えたことを自分の言葉でまとめる活動を設定している。
- 中項目「身近な地域を調べてみよう」で、2ページにわたり、レポートのまとめ方、ホームページへのまとめ方について説明している。



平成28年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔社会〕 種目〔歴史的分野〕

平成28年度から使用する中学校用教科書の採択について

教科 [ 社会 ] 種目 [ 歴史的分野 ]

1 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、古代から現代にいたる歴史的建造物や遺構が多く、身近な地域の調査を通して歴史を直接感じることができる地域である。また、人類が決して忘れてはならない原爆ドームなど、平和の原点となる場所がある。
- 歴史的事象に対する興味・関心が高く、知識も豊富な生徒が比較的多いが、歴史的事象の意味・意義や特色、事象間の関連を説明したり、課題を設定し追求したりする力に課題がある。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ② 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	③ 学習意欲を高めるための工夫 ④ 問題解決的な学習を実施するための工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
<内容の表現・表記>	⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑧ 文字の大きさや配色等の工夫
<言語活動の充実>	⑨ 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

### 3 各教科書の特徴及び意見

#### 1 基礎・基本の定着

##### (1) 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 表見返し3ページにわたり、「日本の国宝・重要文化財」、「日本の世界遺産」の写真を掲載している。
- 裏見返し3ページにわたり、「歴史の中の植物」、「各地のおもな史跡」と綴じ込み年表を掲載している。
- 「古事記」、「日本書紀」について、本文に記載するとともに、特設ページ「深めよう」で、2ページにわたり、記紀神話、世界の神話、島根県と宮崎県の神話について説明している。
- 本文中の「世界遺産」「国宝」「重要文化財」の資料にマークを付している。

##### (2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- コラム「歴史にアクセス」(14箇所)で、「有田焼のルーツ」「朝鮮通信使が訪れた対潮楼」「ペリーの来航と台場」「エルトゥール号遭難事件」等、国際関係や文化交流について掲載している。
- 大項目「現代の日本と世界」の最後に、「石油危機」「サンフランシスコ平和条約」「冷たい戦争(冷戦)」等、国際社会と関わりのある語句の説明や、年表中の空欄に記入する課題を設定している。
- 年表から外国と関係する事柄を抜き出し、時代の流れについて、説明する課題を設定している。

#### 2 主体的に学習に取り組む工夫

##### (1) 学習意欲を高めるための工夫

- 各大項目の冒頭1ページに、学習内容に関連する絵や写真と問いを記載している。
- 各大項目の冒頭2ページにわたり、前大項目の終末と本大項目の冒頭を既習事項と未習事項を連ねて年表により示している。
- 各大項目の冒頭2ページにわたり、小学校で学習した歴史上の人物や出来事、当時の生活の絵図や写真を、年代順に記載している。
- 各大項目の最後に特設ページで、基礎的な語句を説明、年表で時代の流れを確認、資料を説明する学習を設定している。
- 「広島」に関する資料として、「厳島神社」、「平家納経」、「壬生の花田植」等の写真(計10点)を掲載している。
- 特設ページ「わたしたち歴史探検隊⑤」で、原爆ドームの保存と平和への願いについての調査の事例を取り上げている。

##### (2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 全ての小項目で、「どのように」「どのような」という発問の他に、「なぜ」「何が」等の発問がある。
- 教科書の冒頭6ページにわたり、歴史の調べ学習の具体的な方法として、①テーマを決める②調べる③考察する④まとめと発表⑤見直すの5つのポイントを説明している。
- 特設ページ「私たち歴史探検隊」(6箇所)で、地域の歴史の調査方法やまとめ方について説明している。
- コラム「歴史スキル・アップ」を設け、歴史地図・系図・絵巻物から情報を読み取る方法を説明している。さらに、「調査の達人」(13箇所)を設け、資料の読み取り方、発表の仕方など調査の方法やまとめ方を説明している。

#### 3 内容の構成・配列・分量

##### (1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 索引に346名の人物を掲載している。
- 近現代について271ページ中135ページで記載している。(全体の50%)

##### (2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 特設ページ「深めよう」(13箇所)で、学習した内容をさらに深める課題を示している。
- 「えんぴつマーク」(7箇所)で、「考えてみましょう」「読んでみましょう」「整理してみましょう」等、学習を深めるための課題を示している。

#### 4 内容の表現・表記

##### (1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 大項目「近代」及び「現代」において、写真220、絵図92、地図36、年表8、グラフ25、新聞5、文字資料40を掲載している。

##### (2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 小項目ごとに「確認」で、学習内容をまとめ、「次の語句を使って説明しましょう。」「共通点やちがいを挙げましょう。」「関係を説明しましょう。」「〇〇に着目して説明しましょう。」「プラス面とマイナス面から説明しましょう。」「30字程度でまとめましょう。」「□に言葉を入れて説明しましょう。」「経過に沿って説明しましょう。」等の指示により説明する課題を設定している。
- 各大項目の最後の特設ページ「この時代の特色をとらえよう」「歴史の学習のまとめをしよう」で、「ウェビング」、「比較表」、「ディスカッション」、「年表」、「プレゼンテーション」等の方法で、時代の特色を説明し、話し合う学習を設定している。
- 各大項目の最後の特設ページで、時代の特色を、自分の言葉で簡潔にまとめる課題を設定している。
- 歴史学習の最後の特設ページで、プレゼンテーションソフトを使って、日本の歴史をまとめ、発表する学習を設定している。

意見

東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

東京書籍の教科書の特徴である、各大項目の冒頭で、前大項目の終末と本大項目の冒頭を既習事項と未習事項を連ねて年表により示していること、コラムを複数設け、系図、絵巻物等から、情報を読み取る方法を説明したり、調査の方法やまとめ方を説明したりしていること、小項目ごとに、学習内容をまとめ、「〇〇に着目して説明しましょう。」「プラス面とマイナス面から説明しましょう。」「30字程度でまとめましょう。」等の指示により説明する課題を設定していること、大項目の最後に、「ウェビング」「ディスカッション」「プレゼンテーション」等の方法で時代の特色を説明し、話し合う活動を設定した上で、自分の言葉で簡潔にまとめる課題を設けていることは、思考力、判断力、表現力の育成をめざすひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や歴史的事象の意味・意義や特色、事象間の関連を説明したり、課題を設定し追求したりする力に課題がある本市生徒の状況により対応することができるものである。

## 1 基礎・基本の定着

## (1) 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 表見返し2ページにわたり、「歴史のなかの言葉」で、歴史上の人物像や写真とその言葉を掲載している。
- 裏見返し12ページにわたり、「江戸時代の産業と交通」「昔の国と、都道府県の対照図」「歴史年表」「世界地図の歴史」「各地の主な遺跡・史跡・できごと」を掲載している。
- 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文に記載するとともに、特設ページ「資料から歴史を探ろう」で、2ページにわたり、古代の人々の信仰ともの見方について説明している。
- 本文中の「世界遺産」「国宝」「重要文化財」の資料にマークを付している。

## (2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- コラム「歴史の窓」(9箇所)、特設ページ「世界から歴史を探ろう」(5箇所)で、「銀で結びつく世界」「ペリーの那覇・函館寄港」等、国際関係や文化交流について掲載している。
- 大項目「現代の日本と世界」の最後に、「国際連合」「石油危機」等、国際社会と関わりのある語句の年表の空欄への記入や、「日朝首脳会談」「湾岸戦争」等の場所を地図で確認する課題を設定している。

## 2 主体的に学習に取り組む工夫

## (1) 学習意欲を高めるための工夫

- 各大項目の冒頭1ページに、学習内容に関連する絵や写真と問いを記載している。
- 各大項目の冒頭1ページに、学習する時代を示す年表を掲載している。
- 各大項目の最後に特設ページで、基礎的な語句を年表で確認、起こった場所を地図で確認する学習を設定している。
- 「広島」に関する資料として、「被爆後の広島の街」、「平和記念式典の子ども代表」の写真(計2点)を掲載している。
- 特設ページ「人物から歴史を探ろう⑦」で、原爆の子の像と平和首長会議について取り上げている。

## (2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 全ての小項目で、「どのように」「どのような」という発問の他に、「なぜ」「何が」等の発問がある。
- 特設ページ「郷土の歴史を探ろう」(5箇所)で、遺跡や古墳の調査、寺院や墓碑の調査、街道や港の調査等の方法を説明するとともに、資料の読み取り方、発表の仕方など、調査方法やまとめ方について説明している。
- 「読み解こう」のコーナーを設け、資料の読み取り方や、考察の仕方を説明している。

## 3 内容の構成・配列・分量

## (1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 索引に362名の人物を掲載している。
- 近現代について261ページ中112ページで記載している。(全体の43%)

## (2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 特設ページ(24箇所)で、学習した内容をさらに深める課題を示している。

## 4 内容の表現・表記

## (1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 大項目「近代」及び「現代」において、写真180、絵図112、地図39、年表4、グラフ27、新聞10、文字資料20を掲載している。

## (2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

## 5 言語活動の充実

## (1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 小項目ごとに「ふりかえる」で、学習内容をまとめ、「～の用語を使って説明しよう。」「背景やその特色について説明しよう。」「似ている所を説明しよう。」「図に表して説明しよう。」等の指示により説明する課題を設定している。
- 各大項目の最後の特設ページ「学習のまとめと表現」で、「歴史新聞」、「キャッチフレーズ」、「ミニレポート」、「討論会のセリフ」、「年表」、「キーワード」等の方法で、時代の特色を説明し、話し合う学習を設定している。

## 1 基礎・基本の定着

(1) 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 表見返し4ページにわたり、「キャッチコピーづくりをはじめよう」「Yチャートにまとめながら話し合おう」で、写真や絵図、年表を掲載している。
- 裏見返し11ページにわたり、「歴史年表」「国と都道府県」「日本の歴史的遺産」を掲載している。
- 「古事記」、「日本書紀」について、本文に記述するとともに、コラムで、八岐大蛇退治の神話を、特設ページ「もっと知りたい歴史」で、2ページにわたり、「風土記」について説明している。
- 本文中の「世界遺産」「国宝」の資料にマークを付している。

(2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- 特設ページ「もっと知りたい歴史」(4箇所)で、「アジアの船と海上交通」「世界見学に出かけた日本人」等、国際関係や文化交流について掲載している。
- 大項目「現代の日本と世界」の最後に、「日米安全保障条約の調印」「日中平和友好条約の調印」等、国際社会と関わりのある語句を年表の空欄へ記入する課題を設定している。

## 2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- 各大項目の冒頭1ページに、学習内容に関連する絵や写真と問いを記載している。
- 各大項目の冒頭1ページに、学習する時代を示す年表を掲載している。
- 各大項目の最後に特設ページで、資料を、語句を用いて説明する学習を設定している。
- 「広島」に関する資料として、「厳島神社」、「被爆前後の原爆ドーム」等の写真(計5点)を掲載している。

(2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 全ての小項目で、「どのように」「どのような」という発問の他に、「なぜ」「何が」等の発問がある。
- 特設ページ「歴史のとびら」で、フィールドワークの方法、図書館の使い方、まとめ・発表の方法について説明している。
- コラム「もっと知りたい歴史」で、木簡や絵画資料から読み取る方法、人物の調べ方について事例を掲載している。

## 3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 索引に240名の人物を掲載している。
- 近現代について271ページ中131ページで記載している。(全体の48%)

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 特設ページ「もっと知りたい歴史」(9箇所)で、学習した内容をさらに深める課題を示している。

## 4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 大項目「近代」及び「現代」において、写真150、絵図104、地図36、年表2、グラフ18、新聞4、文字資料11を掲載している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

## 5 言語活動の充実

(1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 小項目ごとに「まとめてみよう」で、学習内容をまとめ、「次の語句を使って説明してみよう。」「どのような〇〇だったのだろうか。」「どのように〇〇になったのだろうか。」「キャッチフレーズで表現してみよう」等の指示により説明する課題を設定している。
- 各大項目の最後の特設ページ「まとめてみよう」で、その時代の特徴的な資料を示し、いくつかの語句を用いて説明する学習を設定している。
- 歴史学習の最後の特設ページで、現代社会の一員として、大事にしていかなければならないこととは何かを考え、説明する学習を設定している。

## 1 基礎・基本の定着

### (1) 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 表見返し2ページにわたり、「日本各地の伝統行事と祭り」の写真と、年表を掲載している。
- 裏見返し2ページにわたり、「世界と日本を結ぶさきがけとなった人々」(14人)「日本地図の歴史」「江戸時代のおもしろ地図」を掲載している。
- 「古事記」、「日本書紀」について、本文に記述するとともに、コラムで、日本の神話と世界の神話を比較して説明している。
- 本文中の「世界遺産」「国宝」の資料にマークを付している。

### (2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- 特設ページ「歴史を探ろう」(5箇所)、コラム「羅針盤マーク」(7箇所)で、「東アジアに開かれた窓口 博多」「エルトゥール号のきずな」等、国際関係や文化交流について掲載している。
- 大項目「現代の日本と世界」の最後に、「国際連合」「日米安全保障」等、国際社会と関わりのある語句の年表の空欄への記入や、起こった場所を地図で確認する課題を設定している。

## 2 主体的に学習に取り組む工夫

### (1) 学習意欲を高めるための工夫

- 各大項目の冒頭もしくは途中で、2ページにわたり、学習内容に関連する絵や写真と問いを記載している。
- 各大項目の冒頭1ページに、小学校で学習した内容を示す年表を掲載している。
- 各大項目の最後に特設ページで、基礎的な語句を年表で確認、起こった場所を地図で確認する学習を設定している。
- 「広島」に関する資料として、「壬生の花田植」、「厳島神社」等の写真(計6点)を掲載している。
- コラムで、「広島第一県女一年六組森脇瑤子の日記」を掲載している。

### (2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 全ての小項目で、「どのように」「どのような」という発問の他に、「なぜ」「何が」等の発問がある。
- 教科書の冒頭6ページにわたり、「身近な地域にひそむ歴史を探ろう!」で、「調べるテーマを決める」「情報を集めて調べる」「結果をまとめて発表する」方法について説明している。
- コラム「技能をみがく」で、情報の集め方、絵巻物の見方、情報をもとに考察する方法、レポートのまとめ方を説明している。

## 3 内容の構成・配列・分量

### (1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 索引に311名の人物を掲載している。
- 近現代について263ページ中126ページで記載している。(全体の48%)

### (2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 特設ページ「歴史を探ろう」(11箇所)、「トライアル歴史」(2箇所)で、学習した内容をさらに深める課題を示している。

## 4 内容の表現・表記

### (1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 大項目「近代」及び「現代」において、写真181、絵図105、地図42、年表4、グラフ23、新聞5、文字資料43を掲載している。

### (2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

## 5 言語活動の充実

### (1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 小項目ごとに「確認しよう」「説明しよう」で、学習内容をまとめ、「〇〇の言葉を用いて説明してみましよう。」「違いを説明しましよう。」「理由を説明してみましよう。」「背景を説明してみましよう。」等の指示により説明する課題を設定している。
- 各大項目の最後の特設ページ「学習のまとめ」で、「イメージマップ」、「歴史上の人物に手紙」、「カードを作成」、「新聞記事」等の方法で、時代の特色を説明し、話し合う学習を設定している。
- 各大項目の最後の特設ページで、時代の特色を、文の空欄に言葉を入れる形でまとめる課題を設定している。

### 意見

帝国書院の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

帝国書院の教科書の特徴である、コラムを複数設け、情報の集め方やまとめ方を説明していること、小項目ごとに、学習内容をまとめ、「〇〇の言葉を用いて説明してみましよう。」「違いを説明しましよう。」の指示により説明する課題を設定していること、大項目の最後に、「イメージマップ」「歴史上の人物に手紙」等の方法で時代の特色を説明し、話し合う活動を設定した上で、文の空欄に言葉を入れて、まとめる課題を設けていることは、思考力、判断力、表現力の育成をめざすひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や歴史的事象の意味・意義や特色、事象間の関連を説明したり、課題を設定し追求したりする力に課題がある本市生徒の状況に対応することができるものである。



## 1 基礎・基本の定着

### (1) 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 表見返し2ページにわたり、「歴史との出会い」で、文化財や芸能、日本国内の国宝と世界遺産の写真と地図「国県対照と五畿七道」を掲載している
- 裏見返し11ページにわたり、「歴史年表」「日本の世界遺産」「教科書に出てくる主なできごと・史跡・関係地」を掲載している。
- 「古事記」「日本書紀」について、本文に記述するとともに、コラムで、日本の神話について説明している。
- 本文中の「世界遺産」「国宝」の資料にマークを付している。

### (2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- 特設ページ「歴史を掘り下げる」(5箇所)、「先人に学ぶ」(4箇所)で、「日本人の海外移民」「エルトゥール号遭難事件」等、国際関係や文化交流について掲載している。
- 大項目「現代の日本と世界」の最後に、「朝鮮戦争」「冷戦の終結」等、国際社会と関わりのある語句の年表の空欄への記入や、起こった場所を地図で確認する課題を設定している。

## 2 主体的に学習に取り組む工夫

### (1) 学習意欲を高めるための工夫

- 各大項目の冒頭2ページにわたり、学習内容に関連する絵や写真と問いを記載している。
- 各大項目の冒頭2ページにわたり、同時代の世界の様子について示した地図と年表を掲載している。
- 各大項目の最後に特設ページで、基礎的な語句を年表で確認、起こった場所を地図で確認する学習を設定している。
- 「広島」に関する資料として、「厳島神社」「草戸千軒町遺跡」等の写真(計7点)を掲載している。
- 特設ページ「でかけよう!地域調べ」で、草戸千軒町遺跡についての調査の事例を取り上げている。

### (2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 全ての小項目で、「どのように」「どのような」という発問の他に、「なぜ」「何が」等の発問がある。
- 特設ページ「でかけよう!地域調べ」(6箇所)で、歴史の調べ学習について、史跡、歴史博物館、城下町、近代化産業遺産、戦争遺跡、地域における環境の歴史の調査方法について説明している。

## 3 内容の構成・配列・分量

### (1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 索引に259名の人物を掲載している。
- 近現代について275ページ中135ページで記載している。(全体の49%)

### (2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 特設ページ「歴史を掘り下げる」(9箇所)で、学習した内容をさらに深める課題を示している。

## 4 内容の表現・表記

### (1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 大項目「近代」及び「現代」において、写真168、絵図89、地図34、年表10、グラフ32、新聞4、文字資料20を掲載している。

### (2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

## 5 言語活動の充実

### (1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 小項目ごとに「学習の課題と活用」で、学習内容をまとめ、「特色を説明してみよう。」「変化を説明しよう。」「〇〇との関係から説明してみよう。」等の指示により説明する課題を設定している。
- 各大項目の最後の特設ページ「とらえよう!〇〇の特色」で、「表の作成」「グループで学習した項目の整理」等を行い、時代の特色を文章で説明し、話し合う学習を設定している。

## 1 基礎・基本の定着

## (1) 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 表見返し3ページにわたり、「日本の伝統的工芸品」「旧国名と都道府県名」を掲載している。
- 裏見返し6ページにわたり、「年号西暦早見表」「歴史年表」を掲載している。
- 「古事記」、「日本書紀」について、小項目を設け、2ページにわたり、記述するとともに、特設ページ「もっと知りたい」で、2ページにわたり、「国譲りと古代」について説明している。
- 本文中の「国宝」「重要文化財」の資料にマークを付している。

## (2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- 特設ページ「もっと知りたい」(9箇所)、「人物クローズアップ」(2箇所)、「外の目から見た日本」(4箇所)で、「宣教師の見た日本人」「浮世絵とジャポニズム」等、国際関係や文化交流について掲載している。
- 大項目「現代の日本と世界」の最後に、「国際連合」「日米安全保障」等、国際社会と関わりのある語句を解説している。

## 2 主体的に学習に取り組む工夫

## (1) 学習意欲を高めるための工夫

- 各大項目の冒頭1ページに、学習内容に関連する絵や写真と問いを記載している。
- 各大項目の最後に特設ページで、学習した時代と以前に学習した時代との比較や、歴史上の人物の比較から特徴をまとめる学習を設定している。
- 「広島」に関する資料として、「厳島神社」、「広島藩蔵屋敷の模型」、「原爆ドーム」の写真(計3点)を掲載している。

## (2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 全ての小項目で、「どのように」「どのような」という発問の他に、「なぜ」「何が」等の発問がある。
- 教科書の冒頭5ページにわたり、「疑問を出し合おう」「図書館で調べよう」「現地に行ってみよう」「調べた結果を発表しよう」の4つのステップで調査方法について説明している。

## 3 内容の構成・配列・分量

## (1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 索引に265名の人物を掲載している。
- 近現代について273ページ中126ページで記載している。(全体の46%)

## (2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 特設ページ「もっと知りたい」(35箇所)で、学習した内容をさらに深める課題を示している。

## 4 内容の表現・表記

## (1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 大項目「近代」及び「現代」において、写真145、絵図77、地図29、年表2、グラフ7、新聞7、文字資料29を掲載している。

## (2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

## 5 言語活動の充実

## (1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 小項目ごとに「まとめにチャレンジ」で、学習内容をまとめ、「3つの語句を使って説明してみよう。」「100字程度でまとめてみよう。」「違いを説明してみよう。」「時代順にならべみよう」等の指示により説明する課題を設定している。
- 各大項目の最後の特設ページ「○○とはどんな時代か」で、時代の特色を200字程度の作文で書いた上で、話し合う学習を設定している。
- 歴史学習の最後の、特設ページで、日本の歴史の特色について、エッセイやスピーチで表現する学習を設定している。

## 1 基礎・基本の定着

## (1) 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 表見返し6ページにわたり、「日本の美の形」にわたり各時代の芸術作品の写真を掲載している。
- 裏見返し4ページにわたり、「世界と日本の世界文化遺産」「各地の主な遺跡・史跡」を地図と写真を掲載している。
- 「古事記」、「日本書紀」について、本文に記述するとともに、特設ページ「歴史ズームイン」で、2ページにわたり、「神話に見るわが国誕生の物語」について説明している。
- 本文中の「世界遺産」「国宝」の資料にマークを付している。

## (2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- 特設ページ「このころ世界は」(6箇所)、「歴史ズームイン」(6箇所)、コラム「歴史ビュー」(8箇所)、「人物クローズアップ」(6箇所)で、「外国人が見た日本」等、国際関係や文化交流について掲載している。
- 大項目「現代の日本と世界」の最後に、「国際連合」「日米安全保障条約」等、国際社会と関わりのある語句の年表の空欄への記入や、起こった場所を地図で確認する課題を設定している。

## 2 主体的に学習に取り組む工夫

## (1) 学習意欲を高めるための工夫

- 各大項目の冒頭1ページに、学習内容に関連する絵や写真と問いを記載している。
- 各大項目の冒頭1ページに、学習する時代を示す年表を掲載している。
- 各大項目の冒頭4ページにわたり、歴史上の人物や出来事、当時の生活のイラストを、年代順に記載している。
- 各大項目の最後に特設ページで、基礎的な語句を年表で確認、起こった場所を地図で確認する学習を設定している。
- 「広島」に関する資料として、「草戸千軒遺跡の復元模型」、「原爆ドーム」、「厳島神社」の写真(計3点)を掲載している。
- コラム「幻の町・草戸千軒」で、草戸千軒町遺跡について説明している。

## (2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 全ての小項目で、「どのように」「どのような」という発問の他に、「なぜ」「何が」等の発問がある。
- 特設ページ「課題学習」(3箇所)で、博物館での調べ方、文化遺産や城の調べ方について説明している。

## 3 内容の構成・配列・分量

## (1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 索引に436名の人物を掲載している。
- 近現代について277ページ中128ページで記載している。(全体の46%)

## (2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 特設ページ「課題学習」(7箇所)、「歴史ズームイン」(15箇所)で、学習した内容をさらに深める課題を示している。

## 4 内容の表現・表記

## (1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 大項目「近代」及び「現代」において、写真173、絵図77、地図34、年表4、グラフ23、新聞5、文字資料19を掲載している。

## (2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

## 5 言語活動の充実

## (1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 小項目ごとに「えんぴつマーク」で、学習内容をまとめ、「語句を使って説明しましょう。」「具体例を3つあげて説明しましょう。」「見比べて説明しましょう。」「理由を説明しましょう。」等の指示により説明する課題を設定している。
- 各大項目の最後の特設ページ「〇〇の時代をふり返って考えてみよう」で、「最も重要だと思う人物を選ぶ」、「キャッチフレーズをつくる」等を行い、時代の特色を記述し、話し合う学習を設定している。
- 歴史学習の最後の、特設ページで、「日本の歴史を学んで」というテーマで、400字程度の文章にまとめる学習を設定している。

1 基礎・基本の定着

(1) 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

- 表見返し2ページにわたり、「歴史地図 世界」を掲載している。
- 裏見返し4ページにわたり、「歴史地図 日本」「歴史地図 昔の国名と国境」を掲載している。
- 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文に記載するとともに、コラムを設け、『常陸国風土記』に書かれた富士山と筑波山について説明している。

(2) 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

- コラム(40箇所)で、「ザビエルとアンジロー」「アヘン戦争と江戸幕府・琉球王国」「消えた東京オリンピック」等、国際関係や文化交流について掲載している。
- 大項目「現代の日本と世界」の最後に、「ビキニ水爆実験」「中東戦争」等、国際社会と関わりのある語句の年表の空欄への記入や、起こった場所を地図で確認する課題を設定している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- 各大項目の冒頭2ページにわたり、学習内容に関連する絵や写真と問いを記載している。
- 各大項目の冒頭1ページに、学習する時代を示す年表を掲載している。
- 各大項目の最後に特設ページで、基礎的な語句を年表で確認、起こった場所を地図で確認する学習を設定している。
- 「広島」に関する資料として、「原爆ドーム」、「原爆の子の像」、「原子力平和利用博覧会」の写真(計3点)を掲載するとともに、「被爆者が描いた絵」、「峠三吉の『にんげんをかえせ』の詩」、「マンガ『はだしのゲン』英語版」を掲載している。

(2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 古代の小項目において、「どのように」等の発問がある。
- 特設ページ「歴史を体験する」で、フィールドワークの事例を示すとともに、博物館での調査方法やまとめ方について説明している。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- 索引に356名の人物を掲載している。
- 近現代について290ページ中150ページで記載している。(全体の52%)

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 大項目「近代」及び「現代」において、写真212、絵図123、地図45、年表7、グラフ19、新聞10、文字資料47を掲載している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) 考察したり、論述したり、意見交換したりする学習活動の工夫

- 各大項目の最後の特設ページ「学習のまとめ」で、「前の時代との比較」等を行い、時代の特色を考え、話し合う学習を設定している。